



本当に良く頑張った～感動の中部駅伝～

10月12日(木)、湯梨浜町東郷運動公園周回コースにおいて中部地区中学校駅伝競走大会が行われました。生徒たちは夏休み中から頑張ってきた練習の成果を男女とも十分に発揮してくれたと思います。それ以上にうれしかったのが、数名の校長先生とともに東郷運動公園内を歩いていたとき、どこの学校の生徒よりも大きな声で「おはようございます」と挨拶してくれたのが湯梨浜中学校の生徒たちだったことです。勝ち負け以上に誇らしく感じた瞬間でした。



女子の部 第9位 (結果よりもひたむきさに感動した女子チーム)

惜しくも県総体出場とはなりませんでしたが、一人ひとりが自分の精一杯の走りをつなぎました。走り終わった後に5名中3名の生徒が担架で救護室に運ばれました。それだけ自分の最大限の力を発揮した走りだったということだと思います。救護室で保護者の方に迎えに来てもらおうという提案をしたのですが、「男子の応援をしたいので、残ります」という発言を聞いた時には涙が出そうになりました(最終的に養護の先生と相談し、最後まで応援を続けることができました)。レースは負けてしまいましたが、「一生懸命がかっこいい」、この言葉がびったりの女子チームでした。

男子の部 第5位 (有言実行! 県総体出場をきめた男子チーム)

一人ひとりがここまでの練習の成果を出し切り、たすきをつなぎ、見事、県総体出場を果たしました。目標が3位以上で、県総体出場は必ず果たしてくれるだろうと誰もが思っていましたので、選手一人ひとりのプレッシャーは計り知れないものだったようです。午前中から不安を口にする生徒、そわそわと落ち着きのない生徒もあり、開始前から最大の敵はプレッシャーという心の問題だと感じていました。しかし、本番では全員がしっかりと結果を出し、見事県総体出場を決めてくれました。さすがです。

各部のみなさん お出迎えありがとうございます

駅伝部が学校に戻ってきたとき、部活動中だった1、2年生のみなさんがお出迎えをしてくれました。急な放送にも関わらず、多くの人が出迎えてくれて本当にうれしかったです。放課後学習中の3年生には声をかけることができず申し訳ありませんでした。



<記録会>

女子の部

福田優莉 (3年) 惜しくも入賞ならず

1年男子の部

丹波桜誠 (1年) **5位**
 川本空翔 (1年) 惜しくも入賞ならず

2、3年男子の部

山脇将弥 (2年) **3位**
 林 勁志 (3年) 惜しくも入賞ならず

2名の入賞おめでとうございます

<女子の部>

第9位 56分36秒

- 1区 勢登 美祐 (3年)
- 2区 梶尾 望友 (1年)
- 3区 中本 彩和加 (1年)
- 4区 杉谷 泉里 (3年)
- 5区 川本 円花 (3年)



<男子の部>

第5位 (県総体出場) 65分43秒

- 1区 宇佐美 快斗 (3年)
- 2区 長田 壘 (1年)
- 3区 馬野 獅斗 (3年)
- 4区 蔵本 星愛夢 (3年)
- 5区 岸田 悠翔 (3年)
- 6区 松村 健 (3年)

